

## サンゴ環境保護支援自動販売機設置



7月19日、なぎさ水族館において二ホンアワサンゴの保護・調査活動を支援する目的の自動販売機が設置されることに伴い、設置除幕式が挙行されました。

これはなぎさ水族館の指定管理者の大野工業㈱が企画したもので、自動販売機の売り上げの2%が、サンゴの調査活動等を行っている、NPO法人自然と釣りのネットワークへ寄付されます。

サンゴは周防大島町沖に群生しており、規模は世界最大と言われています。NPO法人理事の藤本正明さんは「大変ありがたいことです。寄附金は主に、アワサンゴ保護活動のPR資金として使いたいと思います。」と感謝の言葉を述べました。

## お遊戯フラ講習会

周防大島町と姉妹島のカウアイ島から、子ども達のために作られたフラミュージックが2曲プレゼント（伝達式・6月23日）されたことに伴い、フラダンス講習会が7月27日、久賀総合センターで開催されました。

当日は町内の保育所・保育園の保育士さんを集めて開催し、フラダンスを披露したアロハ大島フラハーツの皆さんは、踊る時のポイントとして「お遊戯フラなので、楽しく笑顔で踊りましょう。」と説明しました。

フラダンスは今後、保育士さんを通じて子ども達に伝達されます。



## 中高一貫教育だより②

### ○交流授業

5月6日(木)から6月30日(木)までの間、一学期の交流授業を行いました。

周防大島高校から連携4中学校への交流授業は、国語・数学・英語・音楽・保健体育の5教科で、中学3年生の授業を中心に週1日2時間で実施しました。また、中学校から高校への交流授業は、習熟度別にクラス分けされた数学・英語の高校1年次生の授業で、週1時間実施しました。

### ○第1回周防大島地域連携型

中高一貫教育研究委員会

周防大島高校及び連携4中学校の校長・教頭・中高一貫教育担当者、町教育委員会さらに周防大島町立小学校長会会長に出席いただき、久賀中学校を会場に第1回研究委員会を開催しました。

今後の連携のあり方の改善について協議しました。

### ○夏休み中のボランティア活動

毎年夏休みに、高校生と中学生が協力し、ボランティア活動に取り組んでいます。



▲交流授業の様子

今年も周防大島町花火大会の後片付けや24時間テレビの募金活動などに参加する予定です。



授業に関わる教員が増えることで、一度の説明だけでは理解しにくい内容を個別に指導できるなど、きめ細かな指導ができています。

### ■問い合わせ 事務局

周防大島高等学校

☎0820(77)1048